

JAIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2020.Apr Vol.1

Theme1

大学就職課調査

学生は、就職課にどんなイメージをもっているのか？
19卒20卒の学生331名に聞いた就職課の利用状況・イメージ

Theme2

新型コロナウイルスの影響による
就職活動・採用活動の変化

新型コロナウイルスの影響で、情報収集が困難な学生たち

就職課利用状況調査

株式会社ジェイックでは、年間300名以上の学生が弊社紹介企業で就職先を決定します。弊社の紹介で就職先が決定した学生には、ファーストキャリアでしっかりと活躍・定着をしていただくために、「内定者研修」を実施しております。「内定者研修」では、社会人になる前につけておくべき心構えや準備など、残りの学生生活を有意義に過ごしていただくためのアドバイスをしております。今回は、内定者研修に参加した学生が学校の就職支援課・キャリアセンター（以下、就職課）をどのように利用していたかアンケートを実施しました。

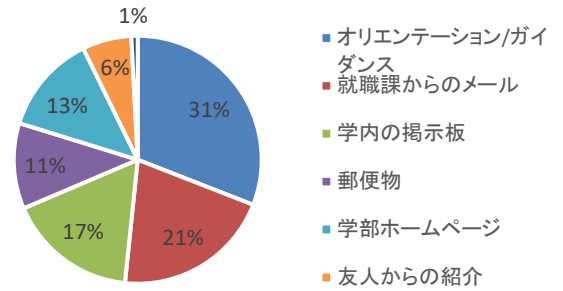
※2019年卒：回答者数331名 期間2018年8月25日～2019年3月29日 2020年卒：回答者数115名 期間2019年8月27日～2020年1月24日
 ※弊社就職支援の特徴として、6月以降も就職活動をしている学生が対象となっております。

■オリエンテーションやガイダンス、メールが有効。学内の掲示板を見ている学生も。

オリエンテーションやガイダンスで就職課を知る人が31%と最も多くいました。メールが21%、学内掲示板が17%という結果で、この3つの手段で約7割の学生が就職課を認知しています。

弊社でも、学生向けのDMやメール配信、就職ガイダンスを行っています。「これから就職活動を始める。」という学生も少なくありません。弊社では、就職課の進路調査のはがきDMの送付代行を行い、進路未決定者向けの就職ガイダンスを実施しています。2020年卒では、はがきの送付数に対して、3.1%（2019年5月～8月送付）の学生が就職ガイダンス参加および弊社登録をして、就職サポートにつながりました。「これまで就職課に来ていなかった学生が、ジェイックさんの就職ガイダンスでは来ていた」というお声もいただいております。学生が主体的に取りに来るのを待つのではなく、就職課から就職情報をどれだけ学生個人に届けるが、重要になってくるかもしれません。

就職課を知ったきっかけは何ですか？

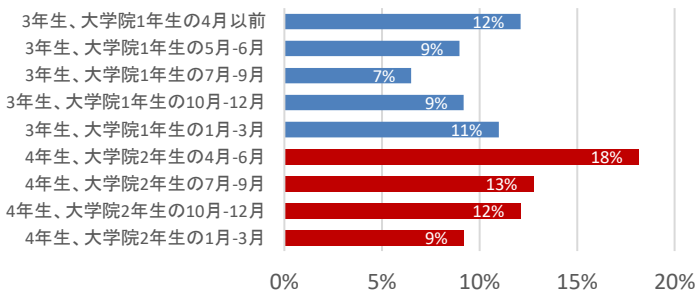


■就職活動が本格化する学部4年生・院2年生になってからはじめて就職課を利用するが半数。

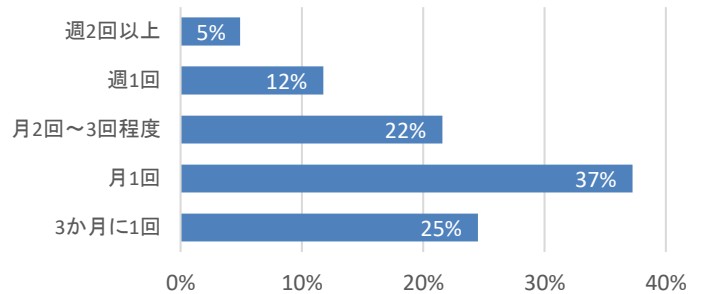
就職課を初めて利用したのが、大学4年生・院2年生になってからという学生が18%と最も多くいました。学年別で比較してみると、学部4年生・院2年生で初めて利用したという学生が半数を超えています。就職活動がうまくいっていない、困ったとなったときにはじめて、就職課を利用するのかもしれませんが。また、就職課の利用頻度ですが、毎週就職課に行く学生が17%ほどで、3か月に1回程度の学生が25%でした。就職課を積極的に利用する学生とそうでない学生が分かれており、どちらかといえば、利用頻度の高い学生は少ないことがわかります。

また、弊社の就職支援の特徴が6月以降の就職支援です。毎年11月と卒業前の2月には、大学からの就職支援依頼も多くあるのですが、弊社で就職ガイダンスを実施した時にも、ガイダンスが初めての就職活動という学生や久しぶりに就職活動を再開するというお声を多くいただきます。就職課の認知を広げるとともに、学部4年生・院2年生で利用した学生の継続利用・サポートをしていくために何をすることが就職率を上げる有効な手段になるかもしれません。

就職課を初めて利用した時期はいつですか？



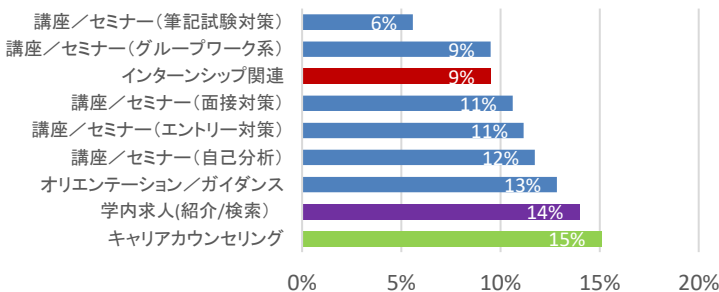
就職課の利用頻度 ※2020年卒のみ



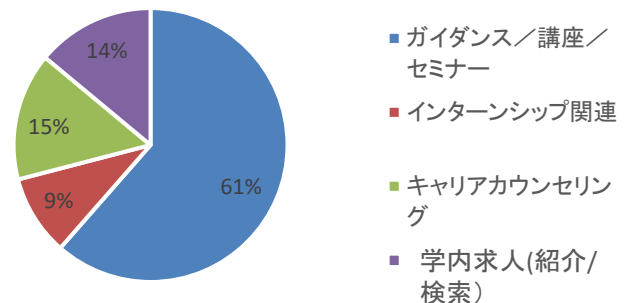
■就職課サポート利用の入り口は、講座が有効。

はじめに就職課で利用したサポートは？という問いに対して、サポート内容での大きな差はありませんでした。しかし、種類別に見てみると、約6割の学生が「ガイダンス／講座／セミナー」がはじめてのサポートでした。「キャリアカウンセリング」や「求人紹介」の学生は、「ガイダンス／講座／セミナー」の4分の1程度しかおらず、学生にとっては、講座形式での就職サポートのほうが、はじめは行きやすいのかもしれませんが。定期的に就職ガイダンスを実施するなど、講座を学生が利用したいと思ったタイミングでいつでも参加できる状態を作っておくと学生がこれまで以上に気軽に就職サポートを受けやすい状況になりそうです。

はじめに就職課で利用したサポートは？ ※2020年卒のみ



支援種類別



■就職課を利用してよかったことは、「個別に悩みを相談できる」「不安を解消できる」などメンタル面が多い

◆設問：就職課を利用してよかったことは何ですか。（回答を一部抜粋）

- ・分からないことだらけでも何でも相談できる。
- ・学内の就活情報サービスの使い方が分かった。
- ・学内求人案内。企業以外の相談ができる。
- ・個別に悩みを相談できる。
- ・志望動機・自己PRを一緒に考えてくれる。
- ・自己分析をして、自分に合う企業がわかった。
- ・OBOG情報が知れる。
- ・就活の不安が解消された。
- ・就活の苦手意識をなくせた。
- ・親身に相談に乗ってくれたこと。

■就職課への要望は、「担当の固定」「面談時間の増加」など、もっと相談したいという要望がある一方で、「何ができるかわからない」「利用しにくい雰囲気」など、利用に至らない理由も明らかに。

◆設問：就職課への要望はありますか。（回答を一部抜粋）

- ・利用しにくい雰囲気、入りにくい雰囲気、相談しにくい雰囲気がある。
- ・学内イベント等の告知が少ない。
- ・相談できる人数を増やしてほしい。
- ・相談時間を増やしてほしい。
- ・キャリアコンサルタント系の資格を持った人がいると安心できる。
- ・担当の人がついて、同じ人に相談をしたい。
- ・職種や業界に詳しい人がいてほしい。
- ・何ができるかわからない。

就職課に対する学生のイメージは、よく利用している人とそうでない人で、大きく異なっている可能性があります。就職課を利用してよかった声では「親切なサポート」が挙がり、もっと利用したいけれど、面談の枠がなく、利用できないという回答が目立ちます。一方で、「利用しにくい雰囲気」「入りにくい雰囲気」「どんなサポートをしてくれるかわからない」等、利用していない人は、まず就職課に行くというところにハードルがある印象を受けます。就職ガイダンスや講座等で、就職課の支援を利用するけれども、その後、どんな支援をもらえるかわからないという状態です。何ができるかわからないから、必要性を感じず、就職課に足を運ばない。一方で、就職課に足を運ばないと、最新の求人情報や講座情報を得ることができないのも事実です。

学生に就職課を利用するメリットをどうやって届けるかが重要であると言えるのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスの影響調査

2021年卒新型コロナウイルスによる就職活動・採用活動の変化

株式会社ジェイック新卒カレッジ®では、3月10日から2021卒学生向けの就職支援イベントを開催しています。その中で、参加者にアンケート調査を行い、新型コロナウイルスの影響でどのように就職活動が変化しているのか、まとめました。

※調査期間：2020年3月12日～2020年3月27日 合計442名

■半数の学生は、Webによる説明会や面接の予約・体験済み。Web面接対策への要望高まる。「企業の雰囲気がわからない」「ほかの就活生との情報共有ができない」など、情報収集に課題。

◆設問：新型コロナウイルスの影響で困っていることや不安なことがあれば教えてください。（回答を一部抜粋）

- ・WEBセミナーだと会社の雰囲気が少し分かりにくいと感じています。
- ・会社に足を運ぶ機会が減り、会社の雰囲気などを感じることができないところ。
- ・感染のことを考えると来社する説明会に行くことをためらってしまう。
- ・業界の合同説明会や地域の合同説明会に参加して企業分析をしたいと考えていましたが、参加できないため、企業選びで迷っています。
- ・景気への影響で内定者の数が減らないか不安です
- ・今後の就活スケジュールが読めないため、自分が他の学生と比べて遅れているのかわかりづらい点。
- ・就活の情報不足が気になることや内定後の取り消しなどがあるかもしれないことです。

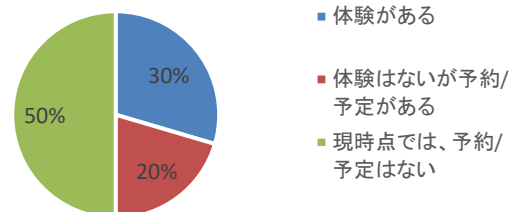
約半数の学生が、これまでの就職活動の中でweb説明会や面接を体験・予約をしています。また、企業の採用活動においても、新型コロナウイルスの対策として「Web説明会」を37.2%の企業が取り入れ始めました。※1これからWeb説明会/面接を実施する企業はますます増えていくと考えられます。外出自粛を受け、会社に足を運ぶことをためらう学生が多い中で、Web説明会は有効です、一方で、実際に会社に足を運ぶことで得られていた情報を収集できないことに学生は不安を抱えています。

企業側としては、どのように学生に会社の雰囲気を伝え、魅力付けをすることができるかが重要になっていきますが、大学や就職支援会社としては、学生の情報不足感を補うようなサポートをすることが重要になります。

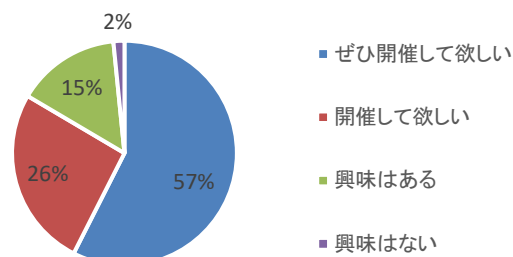
ジェイック新卒カレッジ®では、3月からオンラインセミナーを開催しています。今後も学生の困りごとを聞きながら、オフラインと遜色ない就職サポートを行ってまいります。情報提供や貴学生向けセミナーも実施可能ですので、お気軽にご相談ください。

※1 株式会社ジェイック『「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う新卒採用/就活への影響」調査結果(2/28-3/4)』<https://www.jaic-g.com/news/pressrelease/news-622/> (2020年3月30日)

これまでの就職活動の中でweb説明会/面接の体験はありますか？



大学や就職支援会社に「web面接対策」などのセミナーを開催して欲しいですか？



株式会社ジェイック 新卒カレッジ®のご紹介

“第二就職課”として学生の主体的なキャリア形成と
入社後の定着・活躍をサポートします。

ジェイックは“第二就職課”として、「学生自身の主体的なキャリア形成」や
「研修を通じた就職活動へのマインドセットおよび行動変容」
そして、「納得いく就職先選び」を最後まで支援します。

ジェイックでは、企業の教育支援サービスで培ってきた教育ノウハウ、そして、就職支援サービスで培ってきた就職力の向上プログラムを生かし、大学のキャリア教育、就職支援プログラムを開発・提供しています。

全国59大学と提携（2019年1月現在）しています。当初は大学4年生の就職支援プログラムからスタートしましたが、各大学からの要望に応じて、現在は、入社を控えた4年生向けの入社前研修、3年生向けの就職ガイダンスやインターンシップ、保護者向けの講演、1・2年生のキャリア教育にも携わっております。

1～3年生支援

各種就職セミナー

就活生向け 7つの習慣®研修

適性診断 FutureFinder

4年生支援

就職ガイダンス

カウンセリング/求人紹介

面接マナー講座

集団面接会

面接対策

内定者研修

就職課支援

キャリアカウンセラー派遣

進路調査はがき代行

進路調査電話代行

支援状況・進路報告
※弊社サービス登録学生のみ

大学職員向けセミナー

また、近年では、9月卒業生、留学生、中退者など、領域を広げての就職支援も実施しております。
上記に以外でも、貴校に合わせてカスタマイズが可能です。お気軽にお問い合わせください。
TEL:03-5282-7603 MAIL:daigaku@jaic-g.com 担当:安藤(あんびる)

NEWS

5月26日大学職員向けシンポジウムのご案内

企業担当者トークイベント

コロナショック 21卒の就活はどうなるのか？

新型コロナウイルスの影響で2021卒就活は、3月のスタートから大荒れ。
大型イベントは中止になり、企業の面接もWEB化がどんどん進んだ。
荒波の中スタートした2021卒の就活。企業の人事はこの状況をどう思っているのか。
採用活動の現状から、今後の採用活動の動き、22卒の採用計画など
2021卒の採用活動の今と今後を、現役人事に聞いていきます！

5月26日（火）15:00～18:00 @株式会社ジェイック新宿支店 もしくは オンライン視聴

→イベント詳細やお申込み方法は別紙をご確認ください。